

(第2号様式)

北谷 第2457号
令和7年 3月 5日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立北谷高等学校
校長 大城 寿賀子
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和6年7月30日	大会議室	評議員4人、職員9人
第2回	令和6年12月24日	大会議室	評議員2人、職員8人
第3回	令和7年2月26日	大会議室	評議員3人、職員9人

2 学校評議員に求めた事項

- (1)本校の教育目標や計画、教育活動の実施、地域連携の進め方などに関する意見
- (2)魅力ある学校づくりを推進するために本校に期待する教育活動に関する意見
- (3)登下校時の安全対策等、安心安全な教育環境の確保に関する意見
- (4)学校評価の結果から見える本校の課題等に関する意見

3 学校評議員の意見

- (1)生徒の学力向上の取り組みを進め、保護者と連携して進学に対する生徒の意識向上を図ってほしい。
- (2)奨学金に関する情報等、保護者にとって有益な情報が得られる講演会等を企画して、高校への敷居を低くし、生徒への面接練習や職業講話など学校への参画をしてもらおうと良い。
- (3)観点別評価について、学校として取り組んでほしい。
- (4)一人一台端末について、アプリの導入について昨年からの検討課題となっている。活用に向けて取り組んでほしい。
- (5)教職員の働き方改革を進めてほしい。
- (6)不登校生徒について、義務教育段階で深刻な状況にある。高校での様子を伺いたい。

4 学校運営に反映した事項

- (1)外部機関と連携したキャリアカウンセリングの充実により、進路決定率は向上している。
- (2)PTAを通して、保護者や同窓生から講師を募り、1年生の各クラスで総合的な探究の時間を利用し、「職業講話」を開催した。
- (3)個別最適な学びをさらに充実できるよう、次年度からオンライン学習サービスを導入する。
- (4)観点別評価について、職員研修を持ち、教育課程委員会を中心に検討を進めることができた。
- (5)次年度の「創立50周年事業」の簡素化と地域の魅力を再発見し、発信する総探の取組の実施。

5 課題その他

- (1)進路指導・就職指導の更なる充実と生徒の実態にあった教育課程の工夫。
- (2)学校教育活動に関する情報発信の工夫と保護者や地域等との連携の強化。
- (3)いじめや問題行動のない、生徒が居心地の良い、安全で安心な学校づくり。
- (4)教職員の働き方改革に関連して、家庭で担う部分と学校で担う部分の明確化を進める。